

## 田中さやかさんを 応援します

### 島袋善弘

山梨県立大学名誉教授



生活者ネットは食・子育て・介護・環境などを生活の場から考え、人権が保障される平和な社会をつくることをめざしています。生活者ネットの議員は私たち市民が候補者を選び、市民とともに考える議員です。民主主義の理想のかたちをめざしています。

### 森田明美

東洋大学社会学部教授  
子どもの権利条例東京  
市民フォーラム事務局長



### 山口二郎

法政大学教授



### 南部義典

シンクタンク「国民投票広報機構」代表

### 中川李枝子

作家

### 堀利和

視覚障害者  
元参議院議員

### 長尾詩子

安保関連法に反対する  
ママの会事務局 / 弁護士

### 土谷雅美

生活クラブ生協東京  
理事長

### 山内れい子

東京・生活者ネットワー  
ク都議会議員

### 北野富江

元区議会議員

### 三村りつ子

元区議会議員

### 市川和子

元区議会議員

### 井上八重子

品川・生活者ネットワー  
ク代表 / 前区議会議員

## 田中さやかプロフィール

■1982年 目黒区生まれ(36歳)。区立第九中学校、都立南高校卒業(現:都立美原高校) ■99年~高3在学中からモデル事務所所属、卒業後モデル・タレントとして活動。その後パレル会社勤務 ■2011年~3.11大震災、福島原発事故後、脱原発デモや官邸前抗議行動に参加。公給食や学校給食食材の放射能測定のおくみづくりを求め活動。原発都民投票直接請求運動に参加 ■13年~ 特定秘密保護法強行採決、集团的自衛権行使容認の閣議決定に抗議署名活動。品川・生活者ネットワーク政策委員 ■15年 品川区議会議員初当選。会派:品川・生活者ネットワーク政調会長。 区民委員会、消防団運営委員会委員 ■18年 会派幹事長。区民委員会、オリンピック・パラリンピック推進特別委員会、ICT会議に所属、消防団運営委員会委員。東京・生活者ネットワーク「ジェンダー問題プロジェクト」メンバー、「安保関連法に反対するママの会@しながわ」メンバー

●趣味:子どもたちの自然な姿を写真に撮ること、読書

●家族:夫・娘(小学生)・息子(保育園児)、小山台在住



<http://tanakasayaka.seikatsusha.me/>

田中さやか

検索

facebook

twitter

- 生活者ネット  
3つのルール
- 1 議員報酬は市民の政治活動資金に  
生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開します。
  - 2 議員は交代制(ローテーション)  
議員は最長でも3期12年で交代し、議員を職業化、特権化しません。
  - 3 選挙はカンパとボランティアで  
みんなで知恵や力を出し合い、選挙を行います。

カンパ振込先 郵便振替口座 00130-9-161299  
品川・生活者ネットワーク

## 品川・生活者ネットワーク

品川・生活者ネットワーク news no.110 (西部版)  
発行:品川・生活者ネットワーク 発行日:2018年12月25日  
発行責任者:井上八重子  
連絡先:〒142-0043 品川区二葉 1-10-11 TEL03-5751-7105  
shinagawa@seikatsusha.net <http://shinagawa.seikatsusha.me>



# たなか

品川・生活者ネットワー  
ク区議会議員

# 田中

TANAKA SAYAKA

# さやか

●品川・生活者ネットワー  
ク田中さやかの活動を紹介します。

少子高齢化にともなう子ども家庭・高齢者世帯の孤立化や、格差問題が深刻化しています。ここ品川区でも、市民の暮らしに内在する問題や地域課題に応じた包括的な支援体制づくりが喫緊の課題となっています。いのちと暮らしが脅かされている今こそ、地に足のついた生活重視の政策を地域から打ち出し、国や都をリードしていくことが求められます。

「ひとりにはしない子育て・介護 支えあい分かちあう地域共生社会へ」田中さやかは、誰もが自分らしく暮らせる環境福祉優先のまち品川を実現するために、2期目に挑戦します。



# 田中さやかの提案

“人権・環境・平和” 支えあい分かちあう地域共生社会へ



羽田低空飛行は白紙撤回！原発ゼロ／減災のま  
ちづくりへ

- ・放射能から子どもを守る
- ・品川発！持続可能な地域工  
ネルギー計画をつくる

## 食を守り育てる

- ・食農共育を進める
- ・消費者教育を進める

福祉・介護・医療の連携  
で安心の地域をつくる

- ・高齢者・障がい者の在宅生  
活を支える機能をつくる
- ・移動の確保、居場所の創出  
で高齢者、障がい者の社会  
参加を保障する
- ・世代を超えてみんなが集う  
場を増やす

障がいの有無に関わら  
ず、ともに暮らせるまち  
を実現する

女性や若者の雇用と社  
会参加で、地域社会を豊  
かに

- ・若者や女性の起業、市民事  
業やNPOによる雇用の  
創出を支援する
- ・障がい者が主体的に働く  
「社会的事業所」をつくる

多様性を認めあう「ジェ  
ンダー平等社会」を実現  
する

子どもが輝くまちへ！品  
川子どもの権利条例をつ  
くる

- ・いのち暮らし遊び学び、  
子どもが輝くまちをつくる
- ・障がいがあってもなくても  
共に学びあう学校をつくる
- ・子どもの権利を守るまちを  
つくる

防災・減災対策は福祉と  
環境優先で

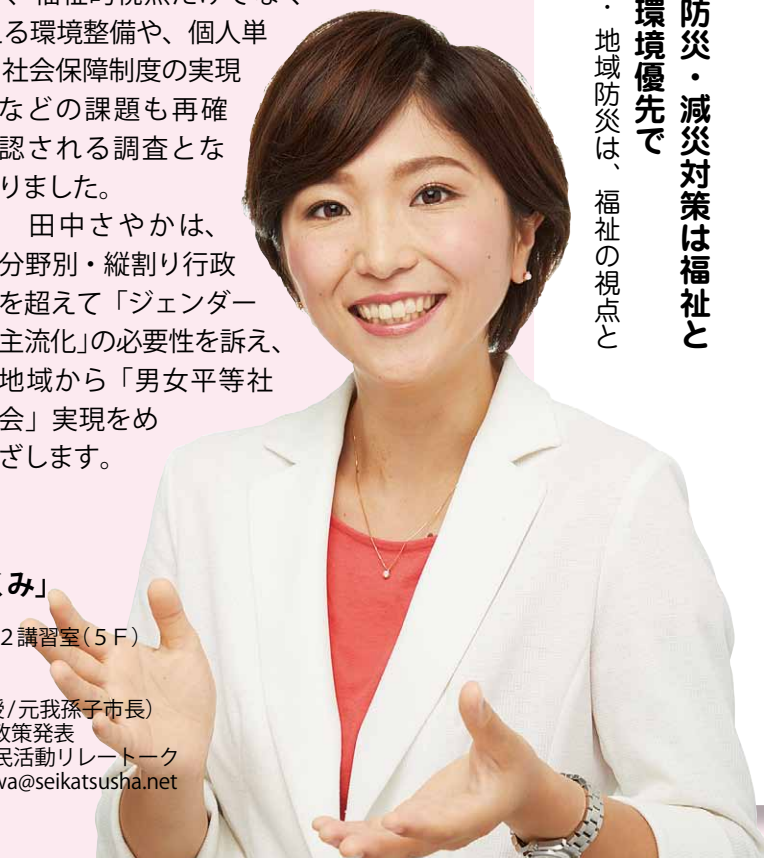
- ・地域防災は、福祉の視点と

GDP世界第3位の日本ですが、女性活躍を掲げて  
いるにもかかわらず、男女間の格差を表すジェンダー  
ギャップ・ランキングでは順位を下げ続けています(2012  
年101位、17年114位)。働く人の4割が非正規雇用(う  
ち7割が女性)となり、共働き世帯が多数派となっている  
にもかかわらず、妻の家事・育児時間は1日約7時間、  
対して夫はわずか1時間です(18年男女共同参画白書)。  
この間、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法、パー  
ト労働法、女性活躍推進法などが整備されてきましたが、  
女性だけでなく長時間労働を強いられる男性の働き方を  
変えなければ、女性の負担は増すばかりです。

生活者ネットワークは昨年、ジェンダー問題プロジェ  
クトを立ち上げ、「子育て女性」「非正規単身女性」「高  
齢女性」をキーワードに、東京に暮らす女性たち100人  
に聞く調査を実施。介護や子育ての社会化、単身女性  
や高齢女性の生活支援とその充実などが喫緊の課題と  
なっていますが、福祉的視点だけでなく  
女性労働を支える環境整備や、個人単  
位の賃金・税・社会保障制度の実現

などの課題も再確  
認される調査とな  
りました。

田中さやかは、  
分野別・縦割り行政  
を超えて「ジェンダー  
主流化」の必要性を訴え、  
地域から「男女平等社  
会」実現をめ  
ざします。



多様性を認め合う「ジェンダー平等社  
会」を実現する！  
女性が自立できる、個人単位の賃金・税・社会保障制度を



障がいのある方が多く通所されている就労移行支援  
事業所「ジョブサ品川区」を訪問。2017年2月1日

## Information

### 2019 政策発表集会

「つくろう！地域共生社会のしくみ」

■2019年2月3日(日) 14:00～16:00

■きゅりあん(品川区立総合区民会館)第2講習室(5F)  
大井町駅徒歩1分

1部 講演「政治の今を読む」

福嶋浩彦さん(中央学院大学教授/元我孫子市長)

2部 品川・生活者ネットワーク2019政策発表

(田中さやか・吉田ゆみこ) / 市民活動リレートーク

\*連絡先 TEL03-5751-7105 / shinagawa@seikatsusha.net

女性の参加で！  
利益優先の再開発から生活  
重視のまちづくりへ転換

大事なことは市民が決  
める

- ・公共施設の再編整備は住民  
参加(主体)で
- ・自治の力を活かす！まちの  
憲法「自治基本条例」をつく  
る
- ・議会への市民参加をすすめ  
る
- ・議会を熟議の場！「議会  
基本条例」をつくる

憲法を活かし、人権・平  
和を守る社会を地域から  
つくる

持続可能な環境を次世代  
にわたす